

154kV未満マッピングの「凡例」および「留意事項」

<凡例>

名称		記号				
		ローカルノンファーム 対象・対象外設備共通	ローカルノンファーム 対象外設備	ローカルノンファーム 対象設備		
		・空容量『あり』 ・平時出力制御の 可能性が低い設備	空き容量『なし』	平時出力制御が発生する 可能性のある設備		
電気所	変電所					
	開閉所					
	発電所					
送電線	架空線	77kV 自社				
		77kV 他社				
	22/33kV	22/33kV 自社				
		22/33kV 他社				
	地中線	77kV	77kV 自社			
			77kV 他社			
		22/33kV	22/33kV 自社			
			22/33kV 他社			

<留意事項>

- (1) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (2) 特に記載のない限り、熱容量を考慮した空き容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
- (3) 赤表示は、空容量が無く、今後新規電源の申込によって平時出力制御が発生する可能性のある系統です。
- (4) 青表示は、空容量が無く、発電出力の平時出力制御が発生する可能性のある系統です。平時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。
* https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html
- (5) 赤および青表示以外において、連系制約が発生しないことを保障するものではありません。また、需要動向等によって、連系制約箇所は変化することがあります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。

[各設備の空き容量はこちらをご覧ください。](#)

(クリックいただければ空き容量一覧(154kV未満)が表示されます。)

